

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 7 部門第 1 区分
【発行日】令和 5 年 4 月 24 日(2023.4.24)

【公開番号】特開 2022-136083(P2022-136083A)
【公開日】令和 4 年 9 月 15 日(2022.9.15)
【年通号数】公開公報(特許)2022-171
【出願番号】特願 2022-100945(P2022-100945)
【国際特許分類】

F 2 1 S 2/00(2016.01)

10

F 2 1 V 3/00(2015.01)

G 0 2 B 5/02(2006.01)

F 2 1 Y 105/16(2016.01)

F 2 1 Y 115/10(2016.01)

【F I】

F 2 1 S 2/00 4 8 0

F 2 1 V 3/00 3 2 0

F 2 1 V 3/00 5 3 0

G 0 2 B 5/02 B

F 2 1 Y 105:16

20

F 2 1 Y 115:10

【手続補正書】

【提出日】令和 5 年 4 月 14 日(2023.4.14)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

30

【請求項 1】

支持基板と、前記支持基板の一方の面側に配置された L E D 素子と、を有する L E D 基板、および拡散部材を有する L E D バックライトの前記 L E D 基板および前記拡散部材の間に配置され、前記 L E D 素子を封止するために用いられる封止材シートと、

前記封止材シートの一方の面側に配置され、光透過性および光拡散性を有する第 1 層と、を有し、

前記第 1 層の光拡散性が、面で光拡散性を発現するものであり、

前記封止材シートが熱可塑性樹脂を含有する封止材組成物から構成される、積層部材。

【請求項 2】

前記第 1 層が、レリーフ型回折格子、またはマイクロレンズアレイである、請求項 1 に記載の積層部材。

40

【請求項 3】

前記第 1 層が、前記封止材シートの一方の面側にパターン状に配置されている、請求項 1 または請求項 2 に記載の積層部材。

【請求項 4】

前記第 1 層の前記封止材シートとは反対側の面に第 2 層が配置され、

前記第 2 層は、前記第 2 層の前記第 1 層側の面に対する光の入射角の絶対値が小さくなるにつれて反射率が大きくなり、前記第 2 層の前記第 1 層側の面に対する光の入射角の絶対値が大きくなるにつれて透過率が大きくなる層である、請求項 2 または請求項 3 に記載の積層部材。

50

【請求項 5】

前記光が、赤色光である、請求項 4 に記載の積層部材。

【請求項 6】

前記光が、緑色光である、請求項 4 に記載の積層部材。

【請求項 7】

支持基板と、前記支持基板の一方の面側に配置された L E D 素子と、を有する L E D 基板、および、請求項 4 から請求項 6 までのいずれかの請求項に記載の積層部材、を有し、
前記積層部材の前記封止材シート、および前記 L E D 基板の前記 L E D 素子に対向するように積層された、L E D バックライト。

【請求項 8】

表示パネルと、

前記表示パネルの背面に配置された請求項 7 に記載の L E D バックライトと、
を備える表示装置。

10

20

30

40

50